

おぐい



2004

2

● 広報

NO.592



シリーズ③①

★ かがやく
小国っ子 ★

おがあさん、かるたはこれだよ!!

今月の子ども愛ランドは、ジャンボかるた取り。

お母さんより早くかるたを見つけた子どもたち。

健康管理センターには

元気な子どもの笑い声が響いていた。



—地域に根ざした体力・健康づくりの50年—

地区対抗スポーツ大会

昭和33年第4回地区対抗駅伝大会ゴールシーンより

戦後、小国町のスポーツは、青年団や公民館が中心となり活動してまいりました。昭和二十九年に一町二村が合併し、新町「小国町」が誕生した翌三十年に、小国町体育協会が結成。以来、体育協会が各種のスポーツ行事に取り組み、地域に根ざした活動が町内各地で展開されてきました。そこで今月は、体力・健康づくりの歩みを振り返ってみたいと思います。

小国町体育協会の歴史

体を動かすことにより、身体機能が強化され、精神をリフレッシュすることができます。健康な生活を営むために必要なすべての活動を楽しむことができるのがスポーツです。

町では、地域住民の体育振興と地域の連携を深めるため、昭和三十年十月に小国町体育協会を結成しました。町体育協会は、当時の東芝電興運動部、地区体育協会などと行政が協働して運営されました。結成の翌月は「町長杯争奪第一回小国町地区対抗駅伝競走大会」が、十二月には「第一回職場対抗卓球大会」が開催されました。その後、昭和三十一年に野球大会、昭和四十一年に町民大運動会、昭和

四十五年に町民水泳大会などが開催され、参加する運動種目や地域の交流の輪が拡大されました。

これらの体力・健康づくりの実践が高い評価を受け、昭和四十五年に町体育協会は文部大臣表彰を受賞しています。

県下に先駆け、年間総合得点制度を導入

昭和四十七年、町は、県下初の試みとして地区対抗の体育大会に年間総合得点制度を導入しました。これは、町内十一地区の対抗戦として、年間をとおしたスポーツ大会を行い、それぞれの競技得点で年間の総合優勝を決めるものです。

このような形で地区対抗ス

町体育振興の主な歩み

年 代	出来 事
昭和29年 3月	北小国村、南小国村、小国町が合併し、新町小国町が誕生する
昭和30年 10月	小国町体育協会結成
11月	町長杯争奪第一回小国町地区対抗駅伝競走大会開催
12月	第一回職場対抗卓球大会
昭和31年 7月	第一回地区対抗野球大会開催
昭和35年 8月	津川村と合併し、現在の小国町となる
昭和41年 8月	第1回町民大運動会開催
昭和44年 8月	町民プールが完成
昭和45年 8月	第1回町民水泳大会開催
昭和45年 10月	小国町体育協会文部大臣表彰受賞
昭和47年 4月～	地区対抗総得点制始まる
10月	第1回40歳以上ソフトボール大会開催
11月	第1回地区対抗卓球大会開催
昭和54年 10月	町民総合体育館完成
昭和55年 11月	第1回地区対抗バスケットボール大会開催
昭和60年 9月	健康・体力づくりで小国町が内閣総理大臣賞受賞
昭和63年 2月	横根スキー場にペアリフト設置
平成元年 10月	テニスコート完成(総合スポーツ公園内)
平成2年 9月	町民野球場完成 健康温泉館「ゆ〜ゆ」完成
平成4年 10月	第47回国民体育大会べにばな国体開催(山岳競技)
平成6年 2月	陸上競技場完成 アスネット完成

ポーツ大会は、特定の種目や特定の人にかたよりがちなスポーツを、子どもからお年寄りまで多くの方が親しめる「みんなのスポーツ」を実現しました。

こうした住民主体のスポーツ大会の取り組みが認められ、昭和六十年に県内で初めて、健康・体力づくり最優秀町として内閣総理大臣賞を受賞しました。

国では、地域の誰もが生涯にわたって多様なスポーツを楽しめる機会を増やすことを目標に二〇〇〇年九月、「スポーツ振興基本計画」をつく

昭和六十三年から平成十三年までの七期十四年間、町体育協会会長を務めた舟山壽一



舟山壽一さん

り、週一回以上のスポーツを楽しむ成人が、二人に一人の割合を掲げています。

国体の開催、思い出深い行事、スポーツは和

さんにお話をうかがいました。「二番思い出に残っているのが平成四年に行われたべにばな国体です。全国各地から選手を迎えるため、北海道や石川県などを視察し、小国らしい受け入れ準備を町全体で進めました。

地区対抗スポーツ大会の魅力は、各地区の団結と連携がきちんと地域づくりに結びついてきたことではないでしょうか。また、町民スキー大会で、国体などに参加した選手が出場すると会場が非常に盛り上がった記憶があります」

駅伝には人一倍 思い入れがあります

昭和第一回地区対抗駅伝大会に参加して以来、通算四十回以上駅伝大会に携わっている佐藤静雄さん(増岡)は、「私が走った昭和三十年の第一回大会の頃は、車が普及していなかった時代で、砂利道を走りました。伴走車も自



佐藤静雄さん

転車やバイクで、ペースが落ちてきたら後ろからハッパをかけられました。当時、私は役場前から松岡駅前まで走りました。大会前には、仕事が終わってから、外灯のない砂利道で練習した記憶が残っています。それだけ力を注いできましたので、駅伝には人一倍思い入れがあります」と当時を振り返ってくれました。

佐藤さんは現在、北東部地区体育協会の監督として今も駅伝大会を支えています。



佐藤孝志さん

スポーツが支える 地区の団結力と 地域づくり

沖庭地区体育協会会長の佐藤孝志さん（舟渡）は、地区体協について次のように話しています。

「大会に参加する前の練習



サマースポーツ大会より

や大会後の反省会などみんなが集まることで、お互いの気持ちを通じ合い、自然と地区がまとまっていきます。サマースポーツ大会の際には、小中学生を対象に応援練習も行っています。

沖庭地区体協では、独自で地区対抗バレーボール大会やグラウンドゴルフ大会、運動会などを開催してきました。また、体協だよりも地区全戸に配布し、平成十三年十月には「おきにわー体協30年のあゆみ」を発行しました。この団結力は、地域づくりに大きく役に役立っていると思います」

子どもからお年寄りまで みんなのスポーツを工夫



山口英彦さん

小国町体育協会会長の山口英彦さんは、

「年間総合得点制を導入した地区対抗体育大会を振り返ってみて言えることは、それぞれの地区が得意とする種目が表れていることです。例えば、スキー競技は南部地区が伝統的に強いというように、地区の独自のカラーが出てきています。各大会に参加するにあたっては、地区体協関係者の皆さんは非常にご苦労されていると思います。

町体育協会では、社会情勢や地域の実情、地域住民のニーズに応じた大会運営を心がけてきました。特に、多くの町民が参加するサマースポーツ大会やウインターズポーツ大会は、子どもからお

年寄りまで楽しくスポーツに親しんでもらうため、レクリエーション種目を設けるなど工夫をしています。

現在、各地区体協の会長さん方にお集まりいただき、地区対抗行事検討会議を開催しており、今後の地区対抗行事のあり方などについて話し合いをしています。

また、小中高一貫教育の実践が実を結び、子どもたちの参加が増えてきています。これからも、学校と地域と体協が連携を密にして体力・健康づくりの機会を充実したいと考えています」と話してくれました。

第三十二回地区対抗

卓球大会を開催

今年で三十二回を数える地区対抗卓球大会が一月二十五日、町民体育館で開催されました。町内八地区より約百五十名が参加。シングルスとダブルスで試合が行われました。熱戦の結果、小坂町地区が栄冠を手に入れました。

地区対抗種目の変遷と 歴代優勝チーム

	年間総合	駅伝	野球	運動会 (サマースポーツ)	卓球	壮年ソフト	婦人バレー	バスケット	スキー (ウインタースポーツ)	ニュースポーツ
昭和30年		小坂町								
昭和31年		小坂町	小坂町							
昭和32年		北東部	小坂町							
昭和33年		小坂町	南部							
昭和34年		小芦	小芦							
昭和35年		東南部	小芦							
昭和36年		東南部	小坂町							
昭和37年		東南部	小坂町							
昭和38年		東南部	小芦							
昭和39年		東南部	小芦							
昭和40年		東南部	北部							
昭和41年		町岩	北部	小芦						
昭和42年		中止	中止	中止						
昭和43年		中止	小坂町	中止						
昭和44年		小坂町	小坂町	中止						
昭和45年		北部	町岩	中止						
昭和46年		北部	中止	沖庭						
昭和47年	町岩	町岩	小坂町	沖庭	小坂町	小芦				
昭和48年	沖庭	南部	沖庭	沖庭	小坂町	小芦	北部			
昭和49年	小坂町	南部	小坂町	北部	小坂町	小芦	小坂町			
昭和50年	小坂町	北部	沖庭	北部	北部	小坂町	小坂町			
昭和51年	小坂町	北部	沖庭	南部	北部	小芦	小坂町			
昭和52年	北東部	北部	小坂町	北東部	北部	小坂町	小坂町			
昭和53年	町岩東	北部	沖庭	町岩東	北東部・北部	小芦	小坂町			
昭和54年	北東部	北東部	北東部	町岩東	沖庭	小芦	小坂町			
昭和55年	町岩東	町岩東	町岩東	中止	北東部・小芦	小芦	北東部	北東部	南部	
昭和56年	北東部	北東部	小坂町	北部	小芦	小芦	北東部	小芦・沖庭	白沼	
昭和57年	小坂町	北東部	北東部東	町岩東	町岩西	町岩西	小坂町	北東部東	白沼	
昭和58年	北東部	町岩東	小坂町	北東部	北部	町岩東	北東部	北東部	南部	
昭和59年	北東部	町岩東	小坂町	町岩東	北東部	小坂町	北東部	北東部東	南部	
昭和60年	町岩東	北東部	中止	町岩東	北東部東	北東部東	北東部	北東部東	南部	
昭和61年	小坂町	小坂町	小坂町・北東部	北東部	北東部東	町岩西	小坂町	北東部東	南部	
昭和62年	小坂町	小坂町	小坂町	東部	北部	北東部東	北東部	北東部東	南部	
昭和63年	小坂町	小坂町	小坂町	北部	北東部東	北東部東	小坂町	小坂町	南部	
平成元年	沖庭	東南部	小坂町	沖庭	北部	町岩西	北東部	東部	南部	
平成2年	小坂町	小坂町	沖庭	沖庭	北部	北東部東	北東部	町岩東	南部	
平成3年	沖庭	東南部	沖庭	沖庭	北東部東	町岩西	北東部		南部	
平成4年	沖庭	東南部	中止	沖庭	町岩東	南部	沖庭		南部	
平成5年	沖庭	北東部	北東部東	北部	北東部	北東部東	北東部		南部	
平成6年	南部	北東部	町岩東	沖庭	北部	南部	北東部		南部	
平成7年	沖庭	北東部	町岩東	沖庭	北東部	南部	北東部		南部	沖庭
平成8年	北部	町岩東	町岩東	沖庭	北部	南部	北東部		南部	沖庭
平成9年	沖庭	町岩東	南部	沖庭	北部	北東部東	沖庭		南部	沖庭
平成10年	沖庭	東部	北東部東	沖庭	北部	北東部東	沖庭		中止	沖庭
平成11年	沖庭	南部	北東部	沖庭	町岩東	北部	沖庭		南部	沖庭
平成12年	沖庭	沖庭	中止	北部	小坂町	町岩東	沖庭		南部	沖庭
平成13年	北部	南部	北東部東	沖庭	北部	中止	沖庭		南部	北部
平成14年	北部	南部	北東部東	沖庭	町岩東	北東部東	東南部		沖庭	沖庭
平成15年		東部	町岩東	沖庭	小坂町	沖庭	北東部東			町岩東

順位	地区体協名	得点
1位	町岩東	123点
2位	沖庭	112点
3位	北部	103点
4位	東南部	101点
5位	小坂町	93点
6位	北東部	92点
7位	南部	85点
8位	北東部東	68点
9位	東部	60点
10位	町岩西	36点
11位	白沼	30点

卓球大会終了時点

■大会結果■
 優勝：小坂町地区、第二位：
 沖庭地区、第三位：町岩
 東地区、北東部地区
 地区対抗卓球大会終了後の
 各地区の年間順位と得点は左
 の得点表のとおりです。今年
 度の年間総合成績は、二月二
 十二日に行われるウインタース
 ポーツ大会で決定します。



白熱のラリーを展開（卓球大会）



食事の間は、学校生活や友だちの話でいっぱい。

ぼくは、今年で2回目のりょう生活になります。きょ年より、きんちょうしないですごしています。それは、みんながやさしくしてくれるからです。りょうの先生は、きょ年と同じ小じま先生です。やさしい時もありますが、こわい時もあります。長くつの中に雪をびしょびしょにしてきた時しかられました。やさしい時は、ぼくのことを「おい、先ぱい。」と言います。・・・

佐藤秀稔君（小2：現在小3）の作文より



お風呂には友だちと一緒に。

玉川寮のある日

玉川小中学校（佐藤健治郎校長、児童生徒数32人）には、県内で唯一、冬季間、9人の小中学生が一緒に暮らしながら学校へ通う寄宿舎（玉川寮）があります。そこで今回は、玉川寮におじゃましてみました。



わからないところは、中学生のお兄さんが丁寧に教えてくれます。



小嶋建男さん

「私自身も寄宿舎生活を経験しましたし、自分の子どもたちもこの玉川寮にお世話になりました。だから、“親”と“子”の両方の気持ちがわかります。寮を巣立った高校生が時々顔を出してくれます。それが何よりうれしいです」

小嶋さんは、平成2年から玉川寮の舎監を務めています。



調理員の小嶋アサ子さん、伊藤喜美子さんは毎朝5時半に寮へ来て、朝食と弁当をつくってくれます。



朝食は午前7時。女子生徒が配膳のお手伝いをします。



勉強の時間はみんな集中。



今日は1月15日、小正月。願い事を込め、みんなでダンゴ木づくり。

冬季間、小国の教育を支えた学び舎

交通の便や除雪体制が現在のよう
に充実していなかった昭和36年当時、
町内には、河原角、明沢、中野、樋
倉、小倉など16地区に冬季分校が開
校されていた。また、白沼、叶水、
小国中、北部、玉川には寄宿舎が
あり、冬季間の学校生活を支えてきた。



北部小中学校中野冬季分校



しろがね寮（白沼小中）

保育園の 交流保育

たくさんお友達できたかな？

日頃、少人数で保育を実施しているあさひ・白沼・叶水・小玉川の保育園の交流保育が、一月十五日、健康管理センターで



行われました。この事業は、平成八年度から年長児を対象に始まりましたが、今年度は年少児も含めて取り組みました。各四地区の保育園が、同年代園児との交流を図ることを目的に実施している事業で、今年度は四回目。今年度は、それぞれの保育園から三十八人が参加し、かるたとりやゴムとび、紙芝居などをして交流を深めました。

全員が裸足で、中には下着姿で走り回る子どもの姿も……。会場には元氣あふれる子どもたちの声が響き渡りました。

臨時議会

平成十六年第一回臨時議会が、一月十三日に開催されました。

今回の議会では、町立病院事業において、平成三十四年度分消費税の無申告加算税並びに延滞税につい

て、町長をはじめとする三役と関係職員でこれを弁済することとし、特別職の給与条例を改正しました。

今回の条例改正で、町長は月額二〇％（十六万二千円）、助役・収入役は一〇％（六万三千元・五万七千元）を二月の給与から減額することになりました。

井上美穂さん

(置賜農業高校2年)

デザイン画

コンクールで大賞

置賜農業高等学校二年の井上美穂さん(綱木箱口)が、デザイン画コンクールで大賞に輝きました。

このコンクールは、山形女子専門学校が主催したもので、県内から百四十六名の応募がありました。井上さんは、自宅でデザイン画に取り組み、初挑戦の応募で栄冠に輝きま



井上美穂さん

した。

中学生の頃から、絵を描くのが好きで、現在もデッサンを楽しんでいる井上さんの夢はデザイナー。「平和をイメージして、自分の中にある考えを具体化しました。デザイン画の公募があれば、また挑戦してみたいです」と語ってくれました。

ウイークエンドサークル こだま

ニユースポーツに挑戦

ウイークエンドサークルこだまの第六回活動が一月十日、町民総合体育館で行われました。

今回は、ニユースポーツに挑戦。町内各地から参加した二十人は、町体育指導委員の佐藤輝彦さん（小股）の指導

を受け、レクレーションを行った後、ユニホッケーやフットバレーボールに汗を流しました。



山口翔太君 (北部中三年) 県選抜で全国大会出場



山口翔太君

北部中学校三年生の山口翔太君（荒沢）が、十二月に大阪府で行われたJOCジュニアオリンピックカップ全国都

道府県対抗第十七回中学バレーボール大会の県選抜メンバーに選ばれ、出場しました。身長181cmの山口君のポジションはレフト。九月に県チームのメンバーに選考され、大会では県チームをベスト十六に進出させる活躍をしました。

山口君は、「大きな規模の大会でしたので緊張しましたが、貴重な経験ができ、とても勉強になりました」と大会を振り返りました。

小中高一貫便り



vol.20

小中合同「国際」の授業 叶水小中学校の英語活動

「ご注文は何ですか？」
「何がありますか？」
「ハンバーガー、チーズバーガー、フライドポテト・・・」
新メニューでプロテインバーがあります。食べると、足が速くなります。
「それを五個ください。」
「こちらでお召し上がりですか、お持ち帰りですか？」
「持ち帰りです。」
これくらいの劇でしたらだれでも簡単にできますね。しかし、これをすべて英語でやるとしたらどうでしょうか？
これは、小学三年、五年、中学一年のグループが自分たちで考えて演じた英語劇の一部です。

町内の小中高校では、特設必修教科として「国際・情報」を設けています。本校は小中併設校の利点を生かし、小学三年から中学一年までの合同国際の授業を行ってきました。

小学生は、英語でどう表現するかを中学生に聞きながらシエスチャーを入れたりして精一杯の英語で表現しています。中学生は、英語科で学習したことを国際の授業に生かし、また学習していない新しい表現なども取り入れながら、小学生といっしょに楽しく英語劇を演じています。
これからも、英語で表現する楽しさを味わえる国際の授業を続けていきたいと思えます。日常生活の中で英語で自分の気持ちを伝えることができる大人をめざして・・・。



国際の授業風景（叶水小中）

話題の ひろば

閉じこもりをいかに解消しよう

亀鶴会(舟渡)でふれあい昼食会

舟渡地区を中心に活動する老人クラブ亀鶴会(佐藤精会長)のふれあい昼食会が一月九日、舟渡活性化センターで行われました。この活動は、家に閉じこもりがちな冬の間、少しでも外に出て元気にすごそうと昨年から始まったものです。

当日は、三十五名の会員が参加。体操、輪投げで親睦を深め、おきにわ保育園児のお遊



戯を楽しみ、小国警察署による交通講話に耳を傾けました。参加されたかたがたは、充実した楽しい冬の一日を過ごしました。



新任保護司

原田憲一郎さん

このたび新しく保護司として法務大臣から委嘱された原田憲一郎さん(越中里)にお話をお聞きしました。

「社会を取り巻く環境をみると、核家族化の進行など非行の温床になりがちな状況になっています。地域の皆さんや関係機関と連携し、犯罪や

非行防止のための活動に取り組んでいきたいと考えます。小国町には私のほかに、八人の保護司の方がいらっしゃいます。助言をいただきながら、保護司としての技量を身につけ、皆さんと一緒に頑張って明るい家庭と豊かな地域づくりのお役に立てればと思います。地域に根ざした目で明るい社会を築くため、活動に励みたいのです」と舟渡郵便局長でもある原田さんは、抱負を語ってくれました。

町民のみなさんへ

町立病院における消費税の納税ミスについては、多大なご心配とご迷惑をお掛けいたしましたことに、衷心よりお詫び申し上げます。

町立病院の収入の大部分を占める「健康増進法、国民健康保険法に基づく医療や助産」については、非課税に該当しています。これ以外の「検診」等は課税の対象となりますが、前々年度の課税売上高が三千万円以下の小規模事業者は納税義務が免除されています。町立病院では、従来、こうした収入が三千万円を超えなかったため、申告をしていませんでした。

新しい病院になってから、人間ドックなどの各種検診事業に力を入れてまいりました。その結果、平成十一年度は三千万円

防火・防災への誓い新たに

平成16年小国町消防出初式

平成十六年小国町消防出初式が一月四日、ふれあいの家とアスモ西側駐車場などを会場に行われました。

この式は、消防団員の士気の高揚と地域住民の防火意識を高めるため毎年行われているものです。

当日は、町消防団員、東芝セラミックス特設消防隊員、消防署小国分署員など約二百人が参加。防火パレードや祝賀放水、まとい振りなどが威勢良く行われ一年の無火災を願いました。



集めた空き缶300キ口が奉仕の心に

北部小中学校がさいわい荘へ車椅子寄贈

北部小中学校（横山稔校長、児童生徒数九十一名）が一月十六日、特別養護老人ホームさいわい荘へ車椅子一台を寄贈しました。

この活動は、平成七年から始まり、今回で七台目の寄贈となります。四月から十二月までの間、学校と地域が一緒になって取り組み、約三百キロのアルミ缶を集めました。

この日は、中学校全生徒三十三人が訪問し、ハンドベルなどの演奏を披露しました。

第二十二回つる細工講習会が一月二十一日から二十三日の三日間にわたって国民宿舎飯豊梅花皮荘で開催されました。

この講習会は、小国町観光協会（佐藤三樹会長）と小国町つる工芸の会（須貝礼一郎会長）が主催したもので、町内外より五十三名が参加。遠くは岐阜県から参加された方もいらっしゃいました。参加された皆さんは、果物かごの制作などに挑戦していました。



巧みの技に魅せられて 第二十二回つる細工講習会

を超える収入になっていました。このため、平成十三年以降は、消費税の納入義務が発生していたわけですが、この手続きに気付かないまま病院会計を管理していました。

十一月に、山形税務署の調査官の指導を受けましたので、急ぎよ、臨時議会を開催し、納入すべき税額を補正させて頂き、納付したところでした。

なお、無申告加算額と延滞税相当額については、町三役及び関係職員の社会的責任を果たすため、関係法令等の手続きを経て、この度の臨時議会で弁償することとし、ご決定を賜りました。

今後は、二度とこのような誤りを繰り返すことのないよう、職員一同、細心の留意と適切な事務管理に努めてまいりますので、ご理解をお願い申し上げます。

小国町長 小野精一

白くまの電器



今月は、大津電機店店主大津関夫さんにお話をうかがいました。

「当店は、昭和二十七年から



大津関夫さん(右)とお店の皆さん

テレビ、ラジオなどを中心に営業を始めました。当時は、自動車などなかったものから、自転車やそりなどに品物を積み、町内各地で商いをさせていただきました。平成八年十二月のアスモ建設に伴い、現在の場所に移転し、営業いたしております。

主に扱っているものは一般家電ですが、最近では携帯電話も取り扱っています。主要のほかに、機種交換も承っております。また、補聴器も扱っており、軽度または中程度の

方でしたら、三〜四万円ほどでご用意できます。お電話いただければ、ご自宅まで無料で出張し、聴力検査もいたしております。

パソコン関係では、各種A D S Lの取次ぎも行っています。一般家電の修理は家庭用電子機器修理技術者のいる当店にぜひお任せください。お客様に現状を説明し、相談しながら修理するよう心がけています。調子がおかしいなど思ったらご相談ください。皆様のご来店を心よりお待ちしております。

☎ 62-2329

編集後記

取材で、玉川小中学校寄宿舎「玉川寮」におじゃましました。その中でたくさんの方の微笑ましい光景に出会い、いろんな場面で自己を振り向くことができました。

兄弟のように仲がいい小松司君、佐藤秀稔君。面倒見のいい舟山亜希さん、川村直弥君、佐藤遥さん、佐藤広樹君。受験勉強に励んでいた川村吉昭君、佐藤和正君、舟山美香さん。

みんなの笑顔が、今でも心に残っています。九人との出会いに感謝しています。

(井上)

戸籍のまど

誕生おめでとございます。

舟	渡	塚	原	勇	き	人子裕美也
岩	井	沢	伊	藤	さ	寿隆由香
小国小坂町	齋	藤	齋	詩	お	蔵風春子
岩	井	沢	伊	藤	美	久麗清佳
尻無沢	仁	科	部	か	え	代誓典康素
長	沢	安	部	か	楓	秀子樹子宏己一
町	原	渡	部	加	う	厚真ル昌明信
兵	庫	館	貝	沼	あ	香一香
小国町	高	橋	口	明	り	信香
小国町	山	口	藤	莉	げ	繁紀
小国町	佐	藤	元	た	拓	
小国小坂町	貝	沼				

結婚おめでとございます。

大	宮	遠	藤	寿	紀
米	市	波	野	亜	由
岩	井	大	面	龍	子
佐	賀	平	野	景	

おくやみ申し上げます。

黒	伊	藤	治	郎	(83)
今	伊	藤	房	夫	(73)
宮	齋	藤	ハ	エ	(87)
の	齋	藤	み	い	(94)
小	伊	藤	ふ	み	(90)
国	齋	村	初	太	(92)
小	木	今	文	男	(73)
五	大	久	ハ	ツ	(92)
緑	伊	藤	留	ミ	(82)
舟	齋	藤	道	ス	(83)
緑	今	道	崎	文	(80)
朝	岩	米	山	キ	(77)
岩	井				(73)
小	小				
国	坂				
小	町				
幸	沢				
若	町				
	山				

人	口	男	…	4,954人(-9)
		女	…	5,199人(-4)
		計	…	10,153人(-13)
世帯数				3,316世帯(-4)
				平成15年12月31日

人口のうき